

岐阜県ポーランド交流協会主催 2026年度 日本美術技術博物館マンガとの青少年交流事業 概要

2024(令和6)年、中山道広重美術館とポーランド共和国クラクフ市にある日本美術技術博物館マンガ(以下、マンガ館)は友好協力協定を締結しました。これを契機に、2025(令和7)年度から岐阜県ポーランド交流協会主催による「日本美術技術博物館マンガとの青少年交流事業」を実施しています。本事業では、恵那市教育委員会と中山道広重美術館が共催する「広重賞 恵那市こども版画コンクール」の中学生部門で優秀な成績を収めた生徒をポーランドへ派遣し、マンガ館の視察や同館付属日本語学校の学生との交流を通じて、相互理解と国際感覚を育む機会を提供します。

事業名	日本美術技術博物館マンガとの青少年交流事業
主 催	岐阜県ポーランド交流協会
事業目的	①ポーランド共和国との文化交流の推進。 ②市内の青少年が自らの地域を見つめ直し、郷土愛を育むと共に、国際的な視野を広げる機会を提供する。
対 象	「恵那市こども版画コンクール」中学生部門の受賞者
人 数	2名 ※上位者から優先的に権利を得る(ただし、権利者が特別賞以下となった場合は抽選による選出)。
渡航先	ポーランド共和国マウオポルスカ県クラクフ市、日本美術技術博物館マンガおよび同館付属日本語学校
渡航時期	2027(令和9)年 夏休み期間中(予定)
費 用	中学生の渡航費、滞在費は岐阜県ポーランド交流協会が負担。
同行者	恵那市職員、美術館職員等
その他 条 件	①コンクールエントリー時に、保護者の同意を得て「渡航承諾書」を必ず提出すること。 ②渡航前に行う説明会に必ず参加すること。 ③渡航時手配のため、内定後速やかにパスポートを用意すること。

※「恵那市こども版画コンクール」へのエントリーは所属する学校を通して行われます。その他詳細は、中山道広重美術館公式HP内「こども版画コンクール」をご参照ください。

※青少年交流事業は、公益財団法人伊藤青少年育成奨学会の助成を受けて実施します。(予定)

日本美術技術博物館マンガについて

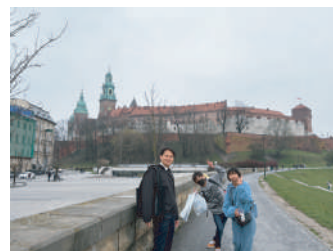
日本美術技術博物館マンガは、日本文化を広めるポーランドの国立文化機関。美術評論家、フェリクス・『マンガ』・ヤシェンスキによって収集された日本美術コレクションを収蔵品の中心とし、保存・展示をしています。日本美術品の展示の他、日本文化に関わる幅広い活動を展開しています。

マンガ館外観

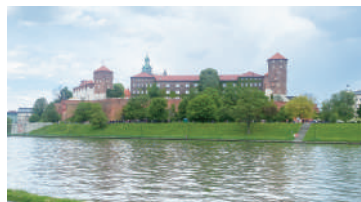


▲日本美術技術博物館マンガ正面玄関
写真: Rafał Sosin

2025
年度
渡航
の様子



クラクフ市街



▲ヴァヴェル城



▲クラクフ市の街並み

